

5-3 伸縮ワイヤーとバイクの固定接続

伸縮ワイヤーのバイクへの接続方法、接続箇所は各種バイクにより異なります。乗車時は様々な状況によりライダーの動きが変わります、その場面を十分想定し、誤操作による誤作動が起こらない様に、伸縮ワイヤーの長さ、バイクへの取付け位置を決めて下さい。(伸縮ワイヤー取付方法・位置 P17~18参照)
不適切な接続の場合、誤作動や作動しない恐れがありますのでご注意ください。

- 警告** ⚠️ 1. 降車時に、接続を解除した伸縮ワイヤーがエンジン等の高熱部分に触れた場合、変形や破損の恐れがあります。
2. 伸縮ワイヤーは運転の妨げになる場所への取付けは避け下さい。
3. 伸縮ワイヤーをヒットエアージャケットに接続しないで走行した場合に、車輪に絡み付く場所への取付けは避け下さい。事故につながる恐れがあります。
- 注意** ⚠️ 4. 乗降時・走行時に伸縮ワイヤーなどがバイクの各部位に接触した場合や、ヒットエアークリア時にキーボールが抜けた際に伸縮ワイヤーの先に付いたキーボールなどがバイクの各部位に接触し、傷つく場合があります。
5. 伸縮ワイヤーの取付けが不完全の場合、伸縮ワイヤーが抜けて作動しません。
6. 外装にごすれ傷、こげあと、めくれ、ヒビ等の異常を確認した場合は新しいものにお取り替え下さい。そのまま使用すると、伸縮ワイヤーの切断やループセッターから抜け外れる原因となります。
7. 伸縮ワイヤーのお取り替えは、各自の責任において適切に行ってください。また、事故の原因となりますので当社指定の伸縮ワイヤーを必ずご使用ください。

伸縮ワイヤー

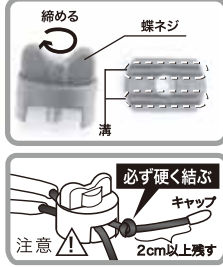
伸縮ワイヤーのワイヤー部には、強度に優れたケブラー糸を使用し、ウレタン樹脂で表面をコーティングしています。



ループセッター

ループセッターは、伸縮ワイヤーの長さを調節し固定するパーツです。

乗車の際に、蝶ネジが強く締まっている事を確認して下さい。長さ調節する場合は、ワイヤーをループセッターの溝に挟み込み、蝶ネジを強く締めて下さい。ループセッターより出たワイヤーは根元に結び目を作り(硬く結ぶ)、先端部を2cm以上残して、余った部分を切り、キャップをはめて下さい。
※結び目が無いとワイヤーが抜けてエアバッグは膨らみません。



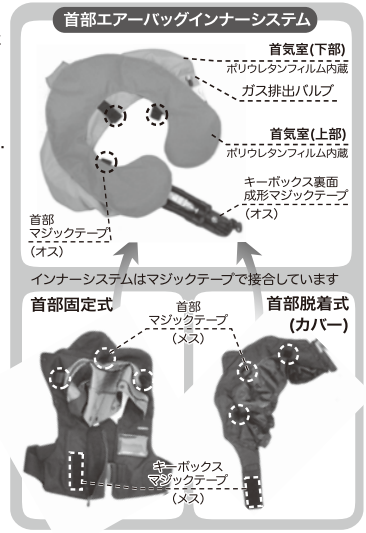
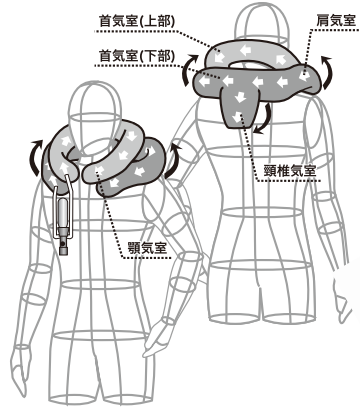
プロテクターチューブ

バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー

伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し、バイクのフレームやハンドルなど、巻き付け箇所の形状に応じて、適切な長さに切って使用下さい。

4-3 ヒットエアーク構造

首部ヒットエアークシステム(気室)はマジックテープで接合しています。気室内部のポリウレタンフィルムが膨らみ衝撃を緩和します。



4-4 キーボックス(Y型)

この装置(写真1)は、通常約30kg~35kg程度で伸縮ワイヤーを引っ張る力により、キーボールが抜けて、キーボックス内に組み込まれている圧縮バネと針が連動し、カートリッジポンベの底部(封板)に穴を開けて炭酸ガスを送り、作動させます。着用時、前方どの方向から引っ張られてもキーボールが抜ける仕組みとなっています。

- 警告** ⚠️ 1. キーボックスを分解したり、部品をはずさないで下さい。
- 注意** ⚠️ 2. 通常時(使用時)はカートリッジポンベを緩めたり外したりしないで下さい。外してしまった場合は、キーボックスの取付けネジ部分に根元までいっぱいねじ込んで下さい。

※YKKと共同開発した小型キーボックス

